

就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験

令和5年度 国 語 (40分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は全16ページです。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの^{らくちょう}落丁・^{らんちょう}乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手をあげて試験監督者に知らせなさい。
- 3 試験開始の合図の後、受験地、受験番号、氏名を解答用紙に記入しなさい。
- 4 解答は、各設問の指示に従い、全て解答用紙の解答らんに記入しなさい。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってかまいません。

4 次の①と②のそれぞれ二つの熟語は、に同じ漢字を入れることで、類義語の関係になる。に当てはまる漢字を、それぞれのアからエまでの中から一つずつ選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

① 要 心

ア 必 イ 細 ウ 肝 エ 不

② 堅 着

ア 工 イ 実 ウ 地 エ 固

5 次の①と②のの中に共通して当てはまる漢字を、それぞれのアからエまでの中から一つずつ選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

① 朝三暮 三寒 温 六時中 苦八苦

ア 三 イ 百 ウ 十 エ 四

② 泰然 若 悠々 適 画自賛 自由 在

ア 地 イ 時 ウ 自 エ 治

次の文章を読んで、後の1から6までの問いに答えなさい。記号で答える問題は、それぞれのアからエまでの中から最も適切なものを選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

ほとんどの生物は限られた移動・分散能力しかもたないため、山や川や海などによって分布の拡大が制限され、地理的に限られた範囲にしか分布しません。

分布域の広さを種間で比べると、ばらつきがあることがわかります。広く分布する種もいれば、狭い範囲にしか分布しない種もいるのです。その理由としてまず挙げられるのは、種ごとの移動・分散能力の違いです。能力の高い種のほうが広い分布域をもちます。加えて、進化の歴史も分布域の広さを左右します。種分化を完了してから長い時間が経過した「古い種」と、最近現れた「新しい種」を思い浮かべてください。古い種のほうが当然、より長い時間、移動・分散をしてきたはずです。その結果、たとえ両者の移動・分散能力が同等だとしても、古い種のほうが広い分布域をもつことになります。

中には分布域が極めて狭く、ごく限られた地域にしか出現しない種もいます。そういう種はその地域の「固有種」と呼ばれます。たとえばムササビ、ニホンザル、アオダイショウ、ニホンイシガメ、シマヘビ、ブナ、マテバシイなどは日本列島でしか見ることのできない固有種です。固有種は、そうでない種に比べると絶滅しやすくなります。分布域が限られていると、すべての分布域が破壊されやすいためです。生息地の破壊による「絶滅の閾値」^{注1}が低いということです。

世界を見渡すと、固有種が多く生息している地域もあれば、固有種があまり分布していない地域もあります（この不均一をもたらし理由については、諸説あります）^{注2}。マイヤーズらは、もつとも優先的に保全活動をおこなうべき場所は、固有種が多く生息する地域だと提案しました。

マイヤーズらが固有種に目をつけた理由は2つあります。ひとつ目の理由は、先ほど考えたとおり、分布域の小さい固有種は生息地の破壊により絶滅しやすいことです。もうひとつの理由は、固有種の保全は別の地域ではかなえようがないことです。

後者の理由を理解するために、保護区を用いた生物保全について考えてみましょう。生物保全策として、人間活動を制限する保護区を設置する方法がよく採用されます。仮に、日本国内に保護区をつくったとしましょう。これは、日本に生息する種の保全につながるかと期待できますが、当然、インドネシアの固有種の保全にはまったく役立ちません。インドネシアの固有種の保全は、インドネ

シアでおこなうしかないのです。こうした前提からマイヤーズらは、保護区をつくるならば、固有種がたくさんいる場所に優先的に設置すべきと持論を展開しました。

マイヤーズらは、①固有種をたくさんふくんでおり、かつ、②自然生態系の70%以上が人間活動により改変されてしまった地域で、優先的に保全活動をおこなうべきと主張しました。こうした場所でさらなる開発が進めば、近いうちに本当に固有種が絶滅してしまふと考えたからです。そしてこの2つの条件を満たした地域を「生物多様性ホットスポット」と名づけました。

この研究で彼らは、世界中に生物多様性ホットスポットが25カ所もあることを発見しました。その後も、生物多様性ホットスポットの探索は続けられ、2022年現在、その数は36カ所に増えています。

私たちの住む日本列島が、生物多様性ホットスポットのひとつであることも判明しました。鳥嶋域（注）にある日本は、豊富な固有種に恵まれている一方で、土地改変も急速に進んでいるからです。日本の固有種の存続が世界から心配されているのです。

生息地が完全に消失したわけではなく、部分的に破壊されただけでも、生物が絶滅することがあります。生息地の部分的な破壊は、完全な破壊に比べると見えにくい脅威です。生息地の部分的な破壊の例として、道の敷設（ふせつ）が生物多様性におよぼす影響について考えてみましょう。

道は私たちの生活に欠かせません。ヒトは道をせつせつとつくり続け、気がつくといふ長い道を敷いてしまいました。アメリカ政府機関の統計によれば、世界の道の総延長距離は、6400万kmにもなるそうです。数字が大きすぎてちょっとイメージしにくいですが、地球と火星がもつとも接近したときの距離が5500万kmほどですから、とんでもない長さです。

野生生物には、環境の変化に敏感な種がいます。こうした種にとっては、その生息地に新たな道が一本通されただけで大問題となりえます。たとえば、交通事故だけがをしたり命を落としたりする野生生物が増えることは、想像に難く（かた）ありません。沖縄東北部に固有の絶滅危惧種の鳥、ヤンバルクイナは、毎年数十羽が交通事故で命を落としています。

森林に通じた林道が野生生物の脅威になることもあります。熱帯域で生活する人の中には、狩猟を生業とする人（ここでは「ハンター」と呼びます）が少なくありません。彼らは、熱帯雨林に生息する野生生物を狩りの対象にすることがあります。ただ、道が整備されていらない原生林での移動は困難で、ハンターはふつう、その奥地まで入ることができません。奥地に潜む野生生物がハンターに狩

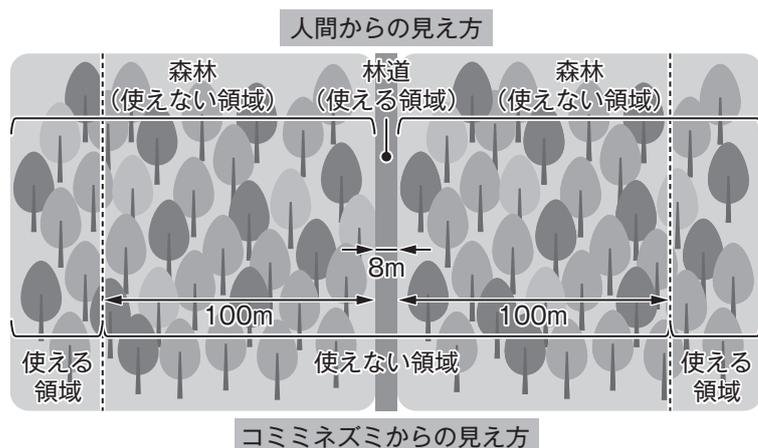


図 エッジ効果

られるリスクは、通常はほとんどゼロなのです。そこに林道が通されるとどうなるでしょうか？ハンターは林道をたどって、森の奥まで容易に侵入できるようになります。結果として、野生生物の狩られる可能性が上昇してしまうのです。

道が野生生物に与える影響は、狩られるリスクの増大だけではありません。

ある動物の生息地に道を敷けば、路上という限られた部分ですが、必ず生息地を奪うことになります。さらに、エッジ効果が加わると、事態は悪化します。エッジ効果は、ほとんどの人にとって聞きなれない言葉でしょうから、林道を例に説明しましょう。

森林に通した道の両側は、たとえば木が生えていたとしても、道から離れた森林内部とは環境が異なります。典型的には日射量や風の強さが変わります。林道の両側のような、森林の周縁部分に現れる環境の変化がエッジ効果です。

環境の変化に敏感な生物は、エッジ効果が現れた範囲では生活できません。林道の両側は私たちがからは森林の一部に見えますが、一部の動物にとっては、森林とはとらえられないのです。その結果、道の真上だけでなく、両側の相当の範囲が彼らの生息地から除かれてしまいます。

エッジ効果がおよぶ範囲は種によって異なることが知られています。私はマレーシアのジャングルに通された林道で、野生生物（とくにネズミなどの小型哺乳類）に働くエッジ効果を調べたことがあります。この研究では、森林に住むコミネズミが、林道の両脇の幅100mの範囲にはほとんど出現しなくなることがわかりました(図)。マレーシアの林道の幅員は、たかだか8mしかありません。しかし、その両側100mが使えないコミネズミにとっては、幅員 の道が森の中に通されたようなものでしょう。

(山田俊弘『絶望』の生態学 軟弱なサルはいかにして最悪の「死神」になったか』による。)

(注1) 閾値……ある反応を起こすのに必要となる最小の値。

(注2) マイヤーズ……英国の生態学者。

(注3) 島嶼……大小いくつかの島々。

4 環境の変化に敏感な生物は、エッジ効果が現れた範囲では生活できません とあるが、それはなぜか。

ア 一部の動物にとって森林の周縁部分は、森林内部と同じ環境とは認識されないから。

イ 絶滅危惧種の鳥は、生息地を通る林道での交通事故により安全に生きられないから。

ウ 森林の奥に潜む野生生物は、林道をたどってきたハンターからは逃げられないから。

エ 日も当たり風も通る森林の周縁部分は、人間から見たら使える領域ではないから。

5 に当てはまる言葉として適切なものはどれか。

ア 8 m

イ 100 m

ウ 200 m

エ 208 m

6 この文章の特徴について述べたものはどれか。

ア 読み手が筆者の結論に共感できるように、複数の研究論文に対する疑問を提示しながら結論を導いている。

イ 読み手に専門的な知識がなくても理解できるように、重要な語句の意味を解説しながら論を展開している。

ウ 読み手が野生生物の生態に関心をもつことができるように、人間と野生生物の共通点を具体的に説明している。

エ 読み手の立場が筆者と異なっても納得できるように、客観的なデータにより自分の仮説を検証している。

次の文章を読んで、後の1から6までの問いに答えなさい。記号で答える問題は、それぞれのアからエまでの中から最も適切なものを選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

中学校一年生の長谷川千春は、同じクラスで星好きの藤沢那彩に誘われて天文部に入部した。だが、部内で一人だけ天体に詳しくない千春は、時折、天文部で居心地の悪さを感じることがあった。ある日、天文部の一同は顧問の葉山先生と一緒に、プラネタリウムのある科学館にやって来た。そこでは第一部で夏の星座が上映された後、太陽系の惑星を紹介する第二部が始まった。

「みなさん、宇宙飛行士になったつもりで、惑星ツアーをお楽しみ下さい」

まずは地球の上空を一周した。太陽に照らされた半面は明るい。海も陸も、もやもやした煙のような雲も、はつきりと見てとれる。ところが裏側にまわったとたん、すべてが暗がりにもみこまれてしまった。こっちは半分は夜なのだ。ぼつぼつと散らばる街のあかりが、第一部の星空を連想させる。今回は逆に、空から地表を見下ろしているわけだけれども。

次におとなりの金星へ飛び、さらに水星も見た。このふたつは地球より内側を公転している。それからUターンして、地球の外側をめぐる惑星にむかった。

一番近い火星は、くすんだ赤い色あいが見るからに不気味だ。

「赤く見えるのは酸化鉄、つまり錆のせいです。ただ、この酸化物がどうやって生成されたのかは、まだわかっていません」

第二部では同じせりふがしきりにくり返されていることに、千春はたと気づいた。まだわかっていません——金星に吹き荒れる秒速百メートルもの暴風の話も、水星に存在する弱い磁場の話も、そのひとことできくくられていた。

残り四つの惑星をまわっていくあいだも、「わかっていません」は耳についた。土星の輪がかたちづくられた過程も、天王星が横倒しの格好で自転している理由も、わからない。ともかく、いろいろとわからないということだけは、よくわかった。

群青色の海王星で、太陽系はおしまいだ。

「おつかれさまでした。では、わたしたちの地球に帰りましょう」

まわれ右して、うす青い天王星の横をすり抜ける。サイズも色も海王星と似ていて、兄弟っぽい。土星、木星、と順に過ぎる。太陽に近づくとつれ、まわりがほんのりと明るくなっていく。

とうとう、行く手に地球が見えてきた。あいかわらずおだやかに輝いている。荒涼としたほかの星々を旅してきたあとでは、やけになつかしい。

「太陽から遠すぎず近すぎず、水と安定した大気に恵まれたこの星は、奇跡とっていいでしょう」

奇跡、という壮大な言葉が、ごく自然に響いた。天王星や海王星の冷ややかな青とは明らかに異なる、生命の気配に満ちたみずみずしい青が、²優しく目にしみる。

³場内が明るくなっても、千春はしばらく立ちあがれなかった。体の半分が、まだ宇宙のどこかをさまよっているみたいだ。

「長谷川さん」

名前を呼ばれ、はっと背筋がのびた。振りむくと、一列後ろから葉山先生が千春を見下ろしていた。

「どうだった？」

「すごく、きれいでした」

うまく頭が働かないまま、千春はとりあえず答えた。つまらない返事だ。われながら恥ずかしくなる。

「すみません、なんか、小さい子の感想みたいで」

「そんなことないよ」

先生が^{ほほえ}微笑んだ。

「きれいだなって感じるのが、すべてのはじまりじゃない？ 出発点っていうか。わたしはそうだったよ」

首をめぐらせ、ホールを見わたす。

「たぶん、みんなも」

千春も周囲を見まわしてみた。二階堂^{にかいどう}先輩は椅子に体を沈め、余韻を味わうかのように天井をうつとりと見上げている。二年生の四人は投影機のそばに集まって、なにやら熱心に議論している。ちょうどこっちに顔をむけていた片瀬^{かたせ}先輩には、ぷいと目をそらさ

れてしまった。

那彩が小走りに駆けよってきて、千春のとなりにすくと座った。

「千春、どうだった？」

「きれいだった」

千春は答えた。すでに通路のほうへ歩き出していた先生に、いたずらっぽく目くばせされた。

「気に入った？ よかったあ」

⁴ばあつと顔をほころばせた那彩は、すぐに表情をひきしめた。

「実は、ちよつとだけ心配だったんだ。千春が楽しめるかなって」

「大丈夫、解説がわかりやすかったし。初心者でもちゃんとついていけたよ」

千春が言うと、ぎゅつと腕をつかまれた。

「ちがうの、初心者とか、そういう意味じゃなくて」

「え？」

「あのね、ええと……なんていうか……」

どうも歯切れが悪い。戸惑いつつ、千春は続きを待った。那彩は日頃からずばずばとものを言うのに、めずらしい。

「気になってたんだ」

那彩がほそりとつぶやいて、手をひっこめた。もじもじとスカートをいじる。

「千春に、無理させてないかなって」

「無理？ わたしが？」

意味がのみこめず、千春は問い返した。

「天文部、あたしが強引に誘っちゃったから。千春は優しいしさ。内心、なんかちがうって思ってたとか……」

「思っていないよ」

とっさに大きな声が出てしまって、口をつぐんだ。そっとまわりをうかがう。幸い、そばには誰もいない。

「ほんとに？」

⁵ 那彩が上目づかいで千春をちらつと見やり、またうつむいた。両手で握りしめたスカートがしわくちゃだ。

「前に失敗したんだ、あたし」

小学校で仲のよかった友だちに、折にふれて星の話をしていたらしい。相手も楽しそうに聞いてくれていた。というか、那彩はそう思いこんでいた。

ある日いきなり、遠慮がちに本音を告げられるまでは。

「ごめん、星にはあんまり興味ないんだ、って」

那彩は深く落ちこんだ。反省もした。他人の趣味を無理やり押しつけられたら、あたしだっていやだ。これからはむやみに星のことばかりしゃべらないように気をつけよう、と心に決めた。

「だけど天文部に入って、舞いあがっちゃって。先輩たちもあんなだしね。最近、浮かれすぎっていうか、調子に乗っちゃってた」
那彩がぐいと顔を上げ、千春と目を合わせた。

「ごめんね千春。あたし、うるさかったよね？ 正直、ひいてない？」

「そんなことないよ」

少し考えて、「でも」と千春は思いきって言い足した。せつかく那彩が素直な気持ちを打ち明けてくれたんだから、わたしもそうしよう。

「なんかちよつと、うらやましかった」

⁶ □に出したら、妙にすつきりした。

ああそうか、と思う。心から夢中になれるものを持ち、それをひたむきに追いかけている那彩たちが、わたしはうらやましかったんだ。豊富な知識だけじゃなくて、その圧倒的な情熱も。

「わたしもがんばる。那彩を見習って」

目をまるくしていた那彩が、照れくさそうに頬をゆるめた。千春の言いたいことは通じたようだ。

「星のこと全然くわしくないし、足ひっぱっちゃうかもだけど」

「いやいや、あたしだってそんなにくわしくないうってば！」

那彩がもどかしげにさえぎった。

「そもそも、専門家でもまだわかってないことが山ほどあるんだよ？」

そうみたいだ。プラネタリウムの上映中も、しつこく「まだわかっていません」と念を押された。宇宙はあまりにも広く、人間はあまりにも小さい。

「初心者っていうなら、あたしたち全員が初心者だって」

(瀧羽麻子『ひこぼしをみあげて』による。)

(注1)天文部……天文に関する学習や天体観測等を行う部活動。

(注2)プラネタリウム……ドーム型のスクリーン等に星空や天体の運動などを映し出す装置。その装置を含む設備・施設全体やその装置が映し出す映像プログラム等を、プラネタリウムということもある。

1 海も陸も、もやもやした煙のような雲も、はっきりと見てとれる。ところが裏側にまわったとたん、すべてが暗がりのみこまれてしまった。とあるが、この表現の特徴を説明したものはどれか。

ア 体言止めを用いて、宇宙から見る夜の地球の様子を印象的に描いている。

イ 倒置を用いて、太陽の光に照らされた地球の様子を生き生きと描いている。

ウ 反復を用いて、太陽の周りを回っている地球の様子を躍動的に描いている。

エ 比喩を用いて、上空を回りながら見る地球の様子を臨場感豊かに描いている。

2 優しく目にしみる とあるが、どうということか。

ア 地球の生き生きとした青が印象に残ったということ。

イ 地球の水と大気の青は見飽きてしまったということ。

ウ 天王星や海王星の冷たい青が刺激的だったということ。

エ 荒涼としたほかの星々を見て目が痛くなったということ。

3 場内が明るくなっても、千春はしばらく立ちあがれなかった とあるが、このときの千春の様子はどれか。

ア 解説を聞いてもわからないことだらけだったので、納得できないと思っている様子。

イ つまらない感想しか思い浮かばず、誰にも話しかけてほしくないと思っている様子。

ウ 今すぐ自分の感動を他の部員に伝えたいと思い、気持ちを抑えきれないでいる様子。

エ プラネタリウムの上映が終わっても、惑星の旅から現実に戻りきれないでいる様子。

4 ばあつと顔をほころばせた那彩は、すぐに表情をひきしめた とあるが、なぜか。

ア 千春が宇宙に興味をもったことに喜びを感じ、これからは自分がより真剣に天体の知識を教えようと思ったから。

イ 千春の落ち着いた態度に感心しつつも、天文部の一員として本格的に活動できるかという点に疑問を感じたから。

ウ 千春がプラネタリウムの内容を気に入ったことに安心し、自分が気にしていたことを打ち明けようと思ったから。

エ 先輩や先生の態度におもしろさを感じつつも、千春に自分の感想を素直に伝えてよいかという不安を感じたから。

5 那彩が上目づかいで千春をちらっと見やり、またうつむいた とあるが、このときの那彩の様子はどれか。

ア 周りの人に自分たちの話を聞かれたのではないかと心配になっている様子。

イ 小学校での失敗と同じことをしたのではないかと不安になっている様子。

ウ 千春をむりやり天文部に入部させてしまったことを後悔している様子。

エ いきなり千春に大きな声で言い返されてしまっておびえている様子。

6 口に出したら、妙にすっきりした とあるが、その理由を次の文のようにまとめた。次の文の（ ）に

当てはまる言葉を、文章中の言葉を使って十二字以内で書きなさい。

那彩たちが心から夢中になれるものに対して（ ）

（ ）をもち、ひたむきに追いかけている姿を、自分がう

らやましいと感じていることに気が付くことができたから。

4

第一中学校の中村さんのグループは、企業の社会貢献について調べるために、インタビュー調査をお願いする電子メールを作成しています。次の【電子メールの下書き】を読んで、後の1から3までの問いに答えなさい。記号で答える問題は、アからエまでの中から最も適切なものを選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

【電子メールの下書き】

宛先： △△△△@□□□.□□.jp

件名： インタビュー調査のお願い（第一中学校・中村）

2023/09/27

南北物産株式会社 御中

（ ① ）

第一中学校3年2組の中村優太と申します。

私たちは、企業の社会貢献の取り組みにはどのようなものがあるのかを調査しています。調査をする中で、貴社が環境保全活動を推進されていることを知りました。そこで、担当の方からお話をお聞きしたいと思い、ご連絡いたしました。

こちらの都合で申し訳ございませんが、貴社には10月23日（月）から10月27日（金）までの期間（午後3時から5時までの間で30分間程度）に、私を含めて4名で行くことを考えております。

（ ② ）

ご多用のところとは存じますが、よろしく願い申し上げます。

第一中学校3年2組 中村 優太

1 () ① () に当てはまる挨拶の言葉として適切なものはどれか。

ア 拝啓

イ 初めてメールを差し上げます。

ウ 寒さが日ごとに増すこの頃、いかがお過ごしでしょうか。

エ インタビュー調査のお願い

2 行く とあるが、「行く」を適切な敬語に書き直しなさい。

3 () ② () に当てはまる文を、次の【条件】に従って書きなさい。

【条件】

- ・ 「つきましては、」に続けて一文で書くこと。
- ・ 対応できる日時を相手から教えてもらえるように、丁寧をお願いする内容を書くこと。
- ・ 漢字や句読点を適切に使って書くこと。